

2026年度 長岡大学シラバス

| | | | | | | | | |
|---------------------------|--------------------------|------|-------------|-----|------|------|--------------------|-------------|
| 授業科目名 | 時事問題 (Current Topics) | | | | | 担当教員 | 樋口 圭治 (ヒグチ ケイジ) | |
| 2020-23年度 入学者(20K-23K) | 科目コード | 科目区分 | 必修・ 選択区分 | 単位数 | 配当年次 | 開講期 | 科目 特性 | 知識定着・確認型 AL |
| | 2013-0-13-052 | 教養科目 | 選択 | 2単位 | 1年次 | 前期 | | |
| 2024-26年度 入学者(24K-26K) | 科目コード | 科目区分 | 必修・ 選択区分 | 単位数 | 配当年次 | 開講期 | 科目 特性 | 知識定着・確認型 AL |
| | 2413-0-13-050 | 教養科目 | 選択 | 2単位 | 1年次 | 前期 | | |

| | | | | | |
|---|--|-----------------------------------|----------------------------|--------------------------------------|--|
| ① 授業のねらい・概要 | | | | | |
| 時事問題を理解するための知識を身につけ、時事問題に対して関心を高めることを目的とする。時事問題に関心を持ち、これを理解するための知識を得ることは、自分が生きている社会に対する理解を深めることになる。授業では、政治、経済、社会・環境、国際の4つの分野から時事問題を取りあげ、これを理解するための基礎知識について学ぶ。 | | | | | |
| ② ディプロマ・ポリシーとの関連 | | | | | |
| 職業人として通用する能力 情報収集・分析能力 | | | | | |
| ③ 授業の進め方・指示事項 | | | | | |
| ・テキスト(教科書)を使用する。使用するテキストの詳細は、下記の「⑤テキスト(教科書)」を確認すること。授業にテキストを持参すること。 ・必要に応じて資料を配布する。 | | | | | |
| ④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能 | | | | | |
| ⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。 | | | | | |
| ニュース検定公式テキスト編集委員会編 日本ニュース時事能力検定協会監修(2026)『2026年度版ニュース検定 公式テキスト&問題集「時事力」基礎編(3・4級対応)』毎日新聞出版 *毎年3月下旬頃に出版される。シラバス作成時点では、2026年度版が出版されるという推測のもと記入している。2026年度版が出版されない場合、2025年度版を使用する。 | | | | | |
| ⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。 | | | | | |
| ニュース・リテラシー研究所編『【図解】まるまわり時事用語(2025-2026年版)』(株)新星出版社。2026-2027年版が出版された場合には、そちらを参考とする。 朝日新聞出版編『新 地政学』朝日新聞出版 | | | | | |
| ⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等) | | | | | |
| テキストの内容だけでなく、関連した最近起こったニュースの新聞記事や、それに関して私が感じたこと等を紹介し、時事への関心を高めます。 | | | | | |
| ⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安 | | | | | |
| (1) 時事問題を理解するための基礎知識を身につける。 (2) 時事問題について、他人に自分の考えを述べるようになる。 (3) 時事問題を理解し、それを就職活動等に活かす。 | | | | | |
| ⑨ ルーブリック | | | | | |
| 評価基準 | S | A | B | C | D |
| 評価項目 | 到達目標を越えたレベルを達成している | 到達目標を達成している | 到達目標達成にはやや努力を要する | 到達目標達成には努力を要する | 到達目標達成には相当の努力を要する |
| (1) 時事問題を理解するための基礎知識を身につける。 | 教科書の時事用語を、教科書を使用せずとも説明でき、さらに教科書に書かれていない時事用語も駆使できる。 | 教科書の時事用語を、教科書を使用せずとも説明できる。 | 教科書の時事用語を、教科書を使用すれば説明できる。 | 教科書の時事用語を、教科書を使用し、さらに教員の支援があれば説明できる。 | 教科書の時事用語を、教科書を使用し、さらに教員の支援があっても説明できない。 |
| (2) 時事問題について、他人に自分の考えを述べるようになる。 | 新聞記事の内容の背景を説明したうえで、課題の指摘と課題解決のための提言ができる。 | 新聞記事の内容の背景を説明したうえで、課題を指摘することができる。 | 新聞記事の内容の背景について、説明することができる。 | 新聞記事の内容の背景について、教員の支援があれば、説明することができる。 | 新聞記事の内容の背景について、教員の支援があっても説明することができない。 |
| (3) 時事問題を理解し、それを就職活動等に活かす。 | 直近の時事について、先輩等目上に対して意見が述べられる。 | 直近の時事について、同期や先輩と議論ができる。 | 直近の時事について、一通り説明できる。 | 直近の時事について、教員等の支援のもと、説明することができる。 | 直近の時事について、教員等の支援があっても説明することができない。 |

| ⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法 | | | | | | | | |
|---|-----------------------------------|-------------------------------|----|-----------|-----------------|-----|------|------|
| 学習到達目標（評価項目） | 定期試験 (レポート含む) | 小テスト | 課題 | 発表・ 実技 | 授業への 取組姿勢・意欲 | その他 | 合計 | |
| 総合評価割合 | 60% | 20% | | | 20% | | 100% | |
| (1) 時事問題を理解するための基礎知識を身につける。 | 20% | 10% | | | 10% | | 40% | |
| (2) 時事問題について、他人に自分の考えを述べるができるようになる。 | 20% | 10% | | | 10% | | 40% | |
| (3) 時事問題を理解し、それを就職活動等に活かす。 | 20% | | | | | | 20% | |
| 評価項目「その他」詳細 | | | | | | | | |
| フィードバックの方法 | 小テストは論述試験を想定しており、担当教員の考え方を別途説明する。 | | | | | | | |
| ⑪ 授業計画と学習課題 | | | | | | | | |
| 回数 | 授業の内容 | 授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物） | | | | | | |
| 1 | イントロダクション | シラバスを熟読し授業の目的を理解したうえで授業に参加する。 | | | | | | 120分 |
| 2 | 時事問題（政治分野）の解説 | 授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所を確認を行う。 | | | | | | 180分 |
| 3 | 時事問題（政治分野）の解説 | 授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所を確認を行う。 | | | | | | 180分 |
| 4 | 時事問題（経済分野）の解説 | 授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所を確認を行う。 | | | | | | 180分 |
| 5 | 時事問題（経済分野）の解説 | 授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所を確認を行う。 | | | | | | 180分 |
| 6 | 時事問題（暮らし）の解説 | 授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所を確認を行う。 | | | | | | 180分 |
| 7 | 時事問題（暮らし）の解説 | 授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所を確認を行う。 | | | | | | 180分 |
| 8 | 時事問題（社会・環境）の解説 | 授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所を確認を行う。 | | | | | | 240分 |
| 9 | 時事問題（社会・環境）の解説 | 授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所を確認を行う。 | | | | | | 180分 |
| 10 | 時事問題（社会・環境）の解説 | 授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所を確認を行う。 | | | | | | 180分 |
| 11 | 時事問題（国際）の解説 | 授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所を確認を行う。 | | | | | | 240分 |
| 12 | 時事問題（国際）の解説 | 授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所を確認を行う。 | | | | | | 180分 |
| 13 | 時事問題（文化）の解説 | 授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所を確認を行う。 | | | | | | 180分 |
| 14 | 時事問題（文化）の解説 | 授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所を確認を行う。 | | | | | | 180分 |
| 15 | 時事問題（地政学）の解説 | 授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所を確認を行う。 | | | | | | 240分 |
| ⑫ アクティブラーニングについて | | | | | | | | |
| 知識定着・確認型ALを採用する。新聞記事などを用いた現実の現象説明への応用にも取り組む。小テストを行い、場合によっては小テストの結果をもとに議論を深める。 | | | | | | | | |

※以下は該当者のみ記載する。

| ⑬ 実務経験のある教員による授業科目 | |
|--------------------|--|
| 実務経験の概要 | |
| | |
| 実務経験と授業科目との関連性 | |
| | |